

## 話し方を磨く講座（技術編）【オンラインライブ】（4123052）

話し方を磨く講座（技術編）～予備校講師のトレーナーが直伝！発声の方法から立ち居振る舞いまで、実践トレーニング。この講座では、主にあなたが人前に立って話す場面において、多くの人が陥りがちな行動や心理状態を明確にしながら、人前で自信を持って聴き手を惹きつける話し方ができるきっかけを提供します。あなたも人前で堂々と話せるスキルを手に入れて、とのコミュニケーションに自信をつけてみませんか。

開催日時	2023年6月6日(火) 9:00-16:00 ライブ配信
カテゴリー	業務遂行スキル <b>ヒューマンスキル</b>
講師	細谷幸裕 氏 (株式会社市進コンサルティング 代表取締役) NPO法人 次世代育成フォーラム・リスタ 理事 生涯学習開発財団認定コーチ 産業カウンセラー ワークショップデザイナー グループ内の講師研修トレーナーを経て、教育委員会での初任者研修から管理職研修を担当。現在は企業向け研修・コンサルティングを中心に活動。 日本情報システムユーザー協会 講師 著作に「新人たちは学生時代にどのような教育を受けてきたのか」（産労総研）
参加費	JUAS会員/ITC: 33,800円 一般: 43,000円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み) 【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信 (指定会場はありません)
対象	・相手の印象を高める話し方を習得したい方 ・人前で緊張せずに話す技術を習得したい方 ・スピーチ力、プレゼンテーション力を高めたい方 <b>初級</b>
開催形式	講義、グループ演習
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
ITCA認定番号	ITCC-CPJU9334
ITCA認定時間	6

### 主な内容

#### ■受講形態

ライブ配信 (Zoomミーティング) [【セミナーのオンライン受講について】](#)

#### ■テキスト

開催7日前を目途に発送（お申込時に送付先の入力をお願いします）

※開催7日前から開催前日までにお申込の場合、テキストの送付は開催後になります。ご了承ください。

#### ■開催日までの課題事項

特になし

話し方は小さな技術の積み重ねによって磨くことができます。例えば、発声法の1つをとっても、文頭と文末に意識を向けるだけで、話す内容がたとえ同じであったとしても相手の印象は大きく変わってきます。また、話す内容の導入部分に「ちょっとした工夫」を盛り込むことで相手の気持ちを一気に掴み、あなたが最も伝えたいことを、あなたが伝えたいように相手に伝えていくことができるようになります。

この講座では、主にあなたが人前に立って話す場面において、多くの人が陥りがちな行動や心理状態を明確にしながら、人前で自信を持って聴き手を惹きつける話し方ができるきっかけを提供します。相手を惹きつける話し方にはコツがあり、そのコツは小さな技術の積み重ねによって体得が可能であることをこのセミナーで実感できるでしょう。あなたも人前で堂々と話せるスキルを手に入れて、とのコミュニケーションに自信をつけてみませんか。

#### ◆主な研修内容：

1 あなたの話し方の課題をあなた自身で認識しているか  
～人によって、話の磨き方は異なる。まずは参加者同士で課題共有～

2 話し方の課題を解消するために、ボトルネックになっているものは何か

～コンテンツ改善だけでは不十分。心技体のバランスが大切～

### 3 課題に応じた、トレーニング方法

- 声の課題 → 腹式呼吸（発声法）の習得、滑舌上達のヒント、間の活用
- 姿勢の課題 → 安定感の醸成、マイナス印象の回避方法
- コンテンツの課題 → 構成の改善方法、原稿を見ないで話すコツ
- メンタル面の課題 → 緊張の緩和方法、準備不足の回避

### 4 聴き手を惹きつける話し方のポイント

- はじまりをコントロールする
- ジェスチャーをコントロールする
- トーン、スピード、ボリュームをコントロールする
- 立ち方、歩き方をコントロールする
- スライドに呑まれない話し方をコントロールする
- コンテンツボディをコントロールする（シンプル性、具体性、論理性、共感性）
- エンディングをコントロールする

### 5 5分スピーチの設計と実演

- コンテンツの設計（何を伝えるか）
- デリバリー方法の計画（どのように伝えるか）
- スピーチによる効果の計画（どう伝わるか）
- 講師からのフィードバック

### 6 業務で活用するために

- コンペで勝てる話し方とは
- 複数の上司を相手に説得できる話し方とは
- お客様を惹きつける話し方とは

#### <参加者の声>

- ・個人的に悩んでいた問い合わせに触れてもらえた。解決策を提示してくれた。
- ・自分が得たいこと以上のこと�이得られた。
- ・自分の欠点や良いところが分かった。
- ・講師の方のテンポもよく、内容もよく理解できた。